

まちづくり協議会だより

20号

みんなで作ろう！

魅力いっぱい
活気にあふれ

安心し心豊かに暮らせる

元気な街を！



小見川に飛来したコウノトリ（野田区・水越正彦氏撮影）

メッセージ

まちづくり協議会々長 根本武彦

5月の定期総会を終え令和6年度の活動がスタートしました。小見川中央地区まちづくり協議会は今年度においても、地域活性化部会、生活・安全・防災部会、教育・文化・歴史部会の三部会を柱にして活動してまいります。

今年は、三部会ともに新部会長を迎えて部会活動を進めてまいりますので大いに期待しております。また、ここまで各部会を育ててくれた平野前地域活性化部会長、須藤前生活安全防災部会長、栗田前教育文化歴史部会長の皆様には現在の部会活動の礎を築いて頂きました。育ての苦しみを味わいつつの部会活動の進捗は本当に大変だったことと思います、ありがとうございました。

今年度は、各部会の活動の他に、当協議会下部組織として「ライドシェアを考える会」準備委員会を設立し、経済性や運転手不足等からいくつかのバス路線が廃止される環境下にあって、交通手段困窮者の足をいかに確保する事ができるか市当局と相談しながら、より良い方策を実現させて行きたいと思っております。

今後も小見川中央地区まちづくり協議会の活動に、ご理解とご協力、ご支援を賜りますようお願い致します。

【地域活性化部会】

❖新地域活性化部会長挨拶…………… 鈴木 進



今年度より、新しく地域活性化部会長を仰せつかりました野田の鈴木です。

当地区には、伝統と新しい文化が混在していますが、何はさておいても『水郷おみがわ花火大会』や『祇園祭り』、『城山さくら祭り』等、観光資源の豊富なところでもあります。一方、既存商店街には空き店舗が増えて活力が低下しており、また住む人々の価値観の多様化、偏在化など多くの課題が山積しています。この背景の中で、私にとって大変荷の重い職務ですが、住民はもとより、地区会役員、各種ボランティアG、高齢者クラブ、民生委員、学校関係者、子供育成会など多くの皆様のご協力、ご配慮を頂戴しながら使命達成に勤しんでいきたいと思っています。その為には各種団体の皆様のご意見、アドバイスをお聞きしながら、コミュニケーション作りや情報の共有化を図って、『皆で作ろう！元気の街を』をスローガンに、住民ファーストを第一に挑戦して参りたく思っています。仲間づくり、イベントには出来るだけ多くの参加者が集うような魅力ある企画、そして住民の皆さんからこの地区に住んでいて本当に良かったと感じて貰えるようなコミュニティづくりを目指して邁進していきたい。どうか皆様のお力添えを宜しくお願い申し上げます。



事業活動

暮らしやすい魅力的な地域づくり

- 健康増進（もりもり体操普及／各種スポーツ大会）
- ふれあい交流促進（地区サロン普及／盆踊り 等）
- 明るい環境づくり（花いっぱい運動／婚活の促進）

広報活動推進

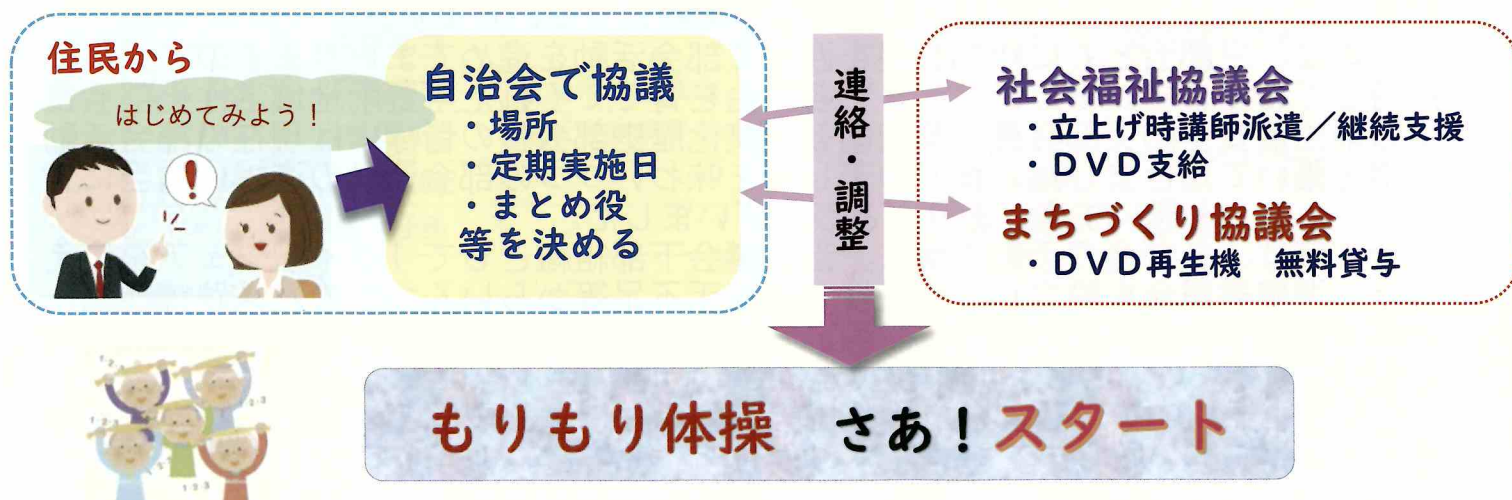
会報年2回発行、祭りブース活用PR促進



□市民の健康増進を図る 香取もりもり体操普及促進

地区自治会・民生委員・ボランティアの皆さんに協力を頂きながら、現在、JAサロン内、小見川団地、入会地、野田各区内において定期的にもりもり体操が運営されています。一部、他地区内からも実施して欲しい声があるようです。始めてみませんか！！

運用において、次のようなサポートを受けられますのでご検討下さい



□住民のふれあい交流推進 パークゴルフ・テスト大会開催

当部会では、スポーツを通じて地域活性化を図っています。パークゴルフ本大会を実施するに当たり、テスト大会で様子を見ようということで、ポスターを作り、いぶき館、さくら館やコンビニに貼って募集スタート。40名の方々に参加頂き実施にこぎ付けました。

テスト大会は、3/7(木)に橘公園パークゴルフ場で開催。当日は、会場オープン前に集まる方がいたので、急ぎ受付の設定、賞品の搬入などを終え来場者をお迎えしました。事前ミーティングで、開催要綱、プレー・ルール、事後のスコア提出、集合場所等をお知らせしプレー開始となりました。

プレー進行に関しては、各組に経験者を入れて行いましたので順調でした。最初の組は、ホールアウト(9ホール)するのに40分程度で、意外に短時間でプレーできる事を確認。プレー場所も平坦でしかもスティック(クラブ)で簡単に球を打つことができ、老若男女が誰でも楽しめるスポーツだと理解しました。ただ4人で順番に打つので、そのルールを分かってないと同伴者に迷惑をかけてしまうのである程度のゴルフ常識が必要かと感じました。

プレー進行と共に互いに打ち解け合って、「打ったボールがどこに行くのかボールに聞いてくれー！」と言う人や、うまくカップインすると「やったー！」などと喜びを体現したり、皆で和気あいあいと楽しめました。

プレー終了後に打数を集計して、少ない打数の人から優勝者／準優勝者／3位賞並びに順位賞を決め表彰式を行いました。受賞された方々おめでとうございます。

【写真の方々が上位入賞者でした】

(左から)3位石井征四郎さん、優勝山口みどりさん、2位早田紀子さん



パークゴルフは、ボールを打ち合い、数コースをプレーし合計打数で順位を決める競技、ルールがあってスコアは自己申告制なので個人々のマナーが試されるスポーツ、いわば紳士の競技です。ただ打つだけでなく、水辺や障害物が設定されているので頭を使って行うスポーツでもあります。参加者の皆さんには本大会が待ち遠しいと期待を持って帰る人もいましたので、本格的な大会をもっと魅力ある内容にと！期待を膨らませました。

尚、本大会は、10月25日(金)10時から橘パークゴルフ場で開催予定、募集については9月初より開始致します。

◎他のスポーツ大会開催予定

12月7日(土)B&G海洋センターでスポーツ吹矢大会を開催いたします。本番を前に数回の体験会を開催予定。近くになりましたらポスターで参加案内致しますので乞うご期待下さい。尚、年明けにはグランドゴルフ、ボッチャ大会開催の準備を進めています。

□駅前広場プランターの花植え替え 明るい環境づくりを促進する

昨年と同様に、去る7月7日(日)に大型ベゴニアに植え替えました。ベゴニアの花は元気に育ち、鮮やかな色合いを長く保つ種です。ご近所の皆様にも管理(花ガラ摘み水やり)の応援を宜しくお願い致します。



【今後の植え替え予定】
2024 年秋⇒パンジーor ビオラに
2025 年春⇒ペチニアに



【生活・安全・防災部会】

❖新生活・安全・防災部会長挨拶……………八重田正己



当部会は、小学生から高齢者まで、中央地区の皆さんが安心して暮らせる街づくりを目指して活動を行っています。 高齢者の生き生き活動では、楽しい趣味講座や自由に話し合える場所を提供し、健康増進や介護予防にも繋がるふれあいの場(サロン)を運営しています。

通学路の安全確保として、安全パトロールによる見守りや、横断旗、のぼり旗などの交通安全表示の維持管理を進め、子どもたちが安全に登下校できるような環境づくりをめざして張り切っています。 地域防災の活動では、地域の皆さんが互いに支えあって自主防災を実現できる地域防災訓練などの支援をしています。これらの活動を維持、推進するには近隣の皆様のボランティア協力を欠かすことが出来ません。ご協力とご支援をよろしくお願い致します。

生き生き！高齢者づくり



サロンくろべ運営⇒入場は自由・無料／茶・珈琲無料
毎月第1／第3金曜日に10時から15時分迄オープン
13時30分からもりもり体操・脳トレ・リズム体操を実施
大スクリーンに映し臨場感を出し、笑いながら楽しく元気良く
出来ますので終了後はスカッ!!としますヨ
大正琴や囲碁／テレビ鑑賞も出来ます



小学生の通学安全を確保

地域安全は近所同士・自主防災づくりで守ろう

□通学路の安全確保

小学校、PTA、自治会と連携して、学校周辺の防犯システムの維持管理を進めて、子どもたちの登下校時の安全安心な環境作りを進めています。

- ・他に、「通学路安全マップ」作成、「危険個所へのパトロール員配置」、「横断旗やのぼり旗の追加設置」や、のぼり旗設置マップを作成し、交換補修の見える化を進めてまいります。
- ・今後は、並行して設置区域の区長さんへ協力を呼びかける仕組みも検討してまいります。

“しかし大きな課題が！” ➡ パトロール員不足、高齢化！



子供たちの笑顔と可愛い挨拶に
期待して、安全確保にご協力を！
応援宜しくお願いします



・小学校近辺交差点等で午前7時より、
午後15時より、 30分間程度

ご賛同頂ける方：八重田まで ☎090-8332-7560

□地域防災・自主防災づくりの推進

まちづくり協議会では、地域の防災力をアップするため、訓練や勉強会などを支援する活動をしています。災害発生時に、いち早く対処するためにはご近所で協力し助け合うことがとても大事になります。地域の防災力で安全安心を確保できるよう自治会や地域主催の防災訓練を支援しますので、該当する地域の役員さんは、事前にお知らせ下さい。



【教育・文化・歴史部会】

❖新教育・文化・歴史部会長挨拶……………石毛正俊

当部会の今年度の活動方針は次の5つです。

- ①市民生涯学習・公開講座・郊外学習研修を継続する
- ②市民や観光者に親しまれる小見川城山公園づくりを進める
- ③地区内にある文化財等の説明板リニューアルを進める
- ④小学校出前講座の開催
- ⑤環境美化啓発活動



私は、昨年秋より半世紀ぶりにこの生まれ育った小見川の地に定住することになりました。いわゆる典型的なUターン定住族の一人です。本活動を通じてふるさと小見川の魅力を発信しつつ、微力ながら「住んで楽しい街づくり」をモットーに、諸先輩のお力をいただきながら活動して行きたいと思っております。

事業活動

地域文化、歴史資産の伝承を進めていく

祇園祭には、中央小学校児童&保護者160人参加頂きました
10/9の郊外研修は、房総の村・成田国際空港等を予定
11/8中央小学校出前講座 水越講師：「残したいね！小見川の自然」を予定、オープン講座ですので皆様もご一緒に参加下さい
城山エリアの史跡調査と再興（石碑、文化財説明版設置等）促進
観光資源維持管理（城山／黒部川／神社仏閣）、地域内歴史遺産の継承 等



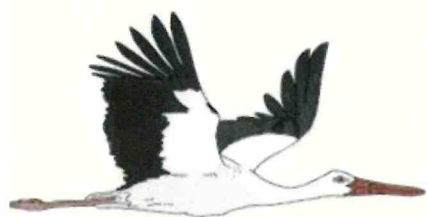
□公開講座「残したいね、小見川の自然」開催

去る6月9日小見川市民センターいぶき館小ホールにて、当協議会主催の公開講座を開催しました。講師は、野田区在住40年の水越正彦先生で、テーマは「残したいね！小見川の自然」と題し、四季折々の里山に生息する様々な動植物の生態観察記録を基に、分かりやすく軽妙な語り口でご講演頂きました。

美しい小見川の四季の紹介では、日本の美しさはその季節の移り変わりにあるとし、春夏秋冬の動植物の生息の多様性を紹介。春には、華やかな梅や桜の開花について気を取られがちですが、あぜ道に咲く雑草にも春が訪れ、オオイヌノフグリ、タネツケバナ、ヒメオドリコソウと言った聞き慣れない種類の草花が咲き乱れるとのことでした。初夏は、ホトギスの鳴き声に始まり、夏には日本固有のヤマユリが咲き、花の王様ともいわれる芳醇な香りを野山に放ち始めます。そして、昔と変わらぬ風景に溶け込んだ白サギにも、コサギ、チュウサギ、ダイサギ等があることを知らされ、驚かされました。



講師：水越正彦氏



めざせ！ オミガワ

更に、昨年飛来した「コウノトリ」についての話題ですが、鮮明な画像(ご自身で撮影された写真は表紙に掲載)をキャッチされており、その身形の優雅さは、他に類を見ません。何と彼女は徳島県をルーツとする「えがお」と命名された個体だそうで、さすがコウノトリは格が違うと感嘆致しました。こうした珍しい鳥が小見川の地を選んだということは、それだけ自然環境が豊かな地である証しと、考えても良いのではない

でしょうか。

水越先生の本講座の特色は、おみがわの動植物の生態系を旺盛な研究意欲と探求心をもって、密度濃く、幅の広い見地による学術的検証を重ね、それを私たち市民に分かりやすく解説して頂いたことにあります。そして、印象的だったのは、縄文時代さながらの生活体系を踏襲している地区が小見川の上小堀地区にあるとの見解です。集落の中心にお墓がレイアウトされているのは、まさに縄文時代の集落形成と一致するとのことでした。周辺に出土している貝塚もあることから、里海の立地環境を背景にした縄文の人々の暮らしが思い浮かべられます。



現存する私達は、古代ロマンの歴史領域に繋がるという認識や数千年に渡り延々と受け継がれた里山自然環境、類まれなる歴史遺産の学術的検証と啓蒙、それを維持継承して行く責務を負っているのは、今を生きる私達おみがわ市民であると改めて感じた次第です。

トピックス

香取地区でのライドシェア実現に向け活動開始

❖ 「日本版ライドシェア」とは？

小林昭男(準備委員会事務局)

ライドシェアの始まりは、米国のウーバーにより2010年にサンフランシスコで一般ドライバーが自車を使って有償旅客サービスする仕組みでスタート。利用者にとってはタクシーより安く、任意のところで乗降できたため便利であり、一方、ドライバーからみると手軽に収入が得られる仕事として、互いにメリットがあることより今や全世界に普及しつつあります。

一方、日本では自家用車での有償業務は、白タク行為として禁止、それと業界の反対などもあり、一部の限定地域を除き、普及がなかなか進まない状況にありました。しかし昨年後半から、タクシー運転手不足解消や交通空白地帯の課題解決のための議論が盛んになり、国交省とタクシー業界の議論の末、「日本版ライドシェア」として、この4月より全国の主要都市部や観光地でスタートしました。が現状での第一世代・日本版ライドシェアは、概ね運転不足による課題解消には一定の効果が出ている様です。が過疎地域における交通空白地帯の解消、高齢者を中心とした交通弱者まで行き届いていない現状にあります。

免許返納したいし...

運転手不足
路線バス廃止

個人が自家用車を使って有償で人を運ぶ
“本格的！ライドシェア拡大へ”
国交省 9月に緩和策発表へ

交通空白地帯解消！

移動どうしよう？



そのため、国交省は交通空白地帯解消などに向け、改良版日本型ライドシェアの普及を柱とした検討を本格化する方針を打ち出しました。今後、地方自治体と地域住民との話し合いが課題解決のための重要な要素になるものと注目されています。



❖香取市の取り組み

香取市においては、多くの地域が過疎地域と指定される一方、公共交通の運転手不足により、路線バスの減便が発生し、多くの交通空白地帯を抱える状況になっています。この課題解決に向けて市としては、今年度、路線バスやコミュニティーバスの再編、一部地域においてワゴン車を活用したオンデマンド交通の実証実験が計画されています。

その流れを受けて、それら移動手段を補完する様々な他の手段を検討することとなり、その一環でまちづくり協議会ではライドシェアの実現性を研究する運びとなりました。



❖ライドシェア実現に向け準備委員会を設置し活動をスタート

このような状況を踏まえ、おみがわ中央地区まちづくり協議会では、市と協働して準備委員会をスタートさせ、地域の現状の課題やその必要性を探るために、**住民皆様のアンケートを実施する計画**になりました。今後は、各地における先行事例の研究などと合わせて、ライドシェア実施に向けた検討を開始してまいります。

よろしくご協力をお願いします。

中央小創立150周年を迎えて

久保木 靖（中央小校長）

小見川中央小学校は明治7年3月9日に開校し、令和6年3月9日に創立150周年を迎えました。これまでに本校を巣立った卒業生は、2万419名（令和5年度卒業生を含む）にも及びます。令和4年に実行委員会を立ち上げ、1年半をかけて様々な記念事業を計画して頂きました。

実施できた事業を紹介します。

○150周年記念キャラクターの作成と特別授業開催

作者＆講師:本校卒業生の美術家絵本作家・たかはしまいまい氏

・記念キャラクターをプリントしたTシャツの制作・販売

○運動会でバルーンリリース（約600個の風船を一斉に飛ばした）

○小見川花火大会で150周年記念メッセージ花火を打ち上げ

○地域の方々からの寄付により

・記念キーホルダー＆マグカップを全児童に配付 ・校庭に遊具6基を新設

○芸術鑑賞会 劇団かかし座（いぶき館ホールで開催）／大石舞さんピアノ演奏会

○150周年記念全校写真の撮影

○桜の記念植樹（八重紅枝垂を12本植樹）

○150周年記念式典挙行

※全校児童と職員、招待者100名あわせて

約660名で盛大に開催しました

小見川中央地区の皆様のおかげで、子供達にとって思い出に残る素晴らしい記念事業をたくさん行うことができました。学校の創立150周

年の節目を祝福し、記念事業の実施に向けて応援して下さった卒業生や保護者・地域の皆様など、本校を温かく支えて頂いた多くの皆様に感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

今後も本校教育に対する皆様のご理解・ご協力をお願い致します。



デザインはたかはしまいまい氏



今期、小見川地区民生・児童委員として46名が委嘱され今年で2年目を迎えている。“支え合う、住み良い社会は、地域から”をキャッチフレーズに、この時期は見守りネットワーク加入者を含む避難行動要援護者の状況確認をしているところである。そして定員46名の内20名が中央地区社会福祉協議会事業の運営委員として活動している。

その内容は3つに分けられ、年間8月を除き、毎月お一人暮らしのお年寄りを対象に、その都度参加者を募り、行事が計画されていて我々はスタッフとして関わっている。まず1つ目の行事としては、さくら館を会場にして皆さんに集まって頂き「もりもり体操、脳トレ、工作、芸能鑑賞 等々」の催し物に参加して貰っている。出し物は、簡単に出来るものから少しレベルの高い内容のもの等があり、私たちスタッフも参加し、一緒に笑い合いながら楽しんで進めている。

2つ目には、市外研修がある。我が家を離れ、バスで市外にあるホテルで、少し豪華な食事に舌鼓を打ち、デパートでのショッピングなど、いつもと違う日を過ごして頂く。もちろん私たちスタッフも一緒である。



そして3つ目は、年2回の配食サービスがある。集いに参加できない人も対象になるので、配食数が倍以上になり、安否確認、体調の変化や困りごとなどを聞きながら直接手渡しするので、予定した時間をオーバーしてしまうことがザラである。11時30分ころから配り始め、時には12時を回ってしまい許しを請うて貰うことが多い。時間がかかるのは、心に鬱積を貯め込まないように配慮して、顔を見合いながら親身になって話し合うので仕方ないことでもある。これからは私たちは、高齢者にとって住み慣れたこの地域で、安心して暮らして頂けるよう努力して参りたいと思っています。



□令和6年度定期総会終了・新役員決まる！！

去る5月16日に対面形式の定期総会を開催致しました。当日予定した上程議案、令和5年度の事業報告・収支報告、並びに新年度の事業計画、収支予算、役員の変更については、提案通り承認されました。参加された25名の運営委員の皆様お疲れでした。

新年度予算は、1,570,000円となりました。効率良く運用してまいります。

◎令和6年度の役員は次の通りです

（敬称略、青字：協議会役職名）

会 長	根本武彦	社会福祉協議会	理 事	鈴木 進	地域活性化部会長
副会長	林三和子	民生児童委員	〃	石毛正俊	教育文化歴史部会長
〃	石橋宏一	自治連合会	〃	久保木靖	中央小校長
〃	高橋秀治	観光協会会長	〃	河津智人	中央小教頭
会 計	土屋照夫		〃	大塚英則	
監 事	中野 清		〃	栗田元一	
〃	須藤孝三		〃	河野英則	青少年相談員
事務局長	石井典雄	社会福祉協議会	〃	箕輪 温	
事務局	八重田正己	生活安全防災部会長	〃	小林 弘	
顧 問	西岡敏明		〃	宮部義夫	
〃	亘 好美		〃	南 貴志	消防団第一分団

□編集後記



発 行 小見川中央地区まちづくり協議会
 発行日 令和6年10月1日
 責任者 根本武彦 連絡先 ☎080-2565-9226
 編集委員（アイウ順）石井典雄 石橋宏一、鈴木 進、中野 清、西岡敏明